

芸術関係者に最大150万円

2次補正案 支援総額560億円規模

政府は26日、新型コロナウイルスに対応する第2次補正予算案に、文化芸術・スポーツ関係者や団体に対して、活動の継続や再開などを支援するために、総額で560億円規模の新たな支援策を盛り込む方針を固めた。個人に対しては、

最大で150万円を支援する方針。2月末に政府が大規模イベント開催の自粛を呼びかけてから、演劇や音楽会などが相次いで中止や延期に追い込まれており、関係者や与野党内からより踏み込んだ公的支援を求める声が高まっている。

関係者によると、活動の継続や稽古、公演準備、感染防止対策などに対し、個人や小規模事業者に最大で150万円を支援する。中・大規模事業者については文化芸術分野に限り、さらに増額した支援メ

ニューを用意する。第1次補正で盛り込んだ収益力強化に取り組み団体への支援事業なども拡充し、総額で約560億円とする見通しだ。

芸能や音楽、映画など21団体でつくる文化芸術推進フォーラムによると、2月26日に政府が大規模イベン

トの自粛を要請してから3週間だけで約5600回の公演が中止され、損失は推計で約522億円にのぼる。緊急事態宣言の解除後も「新しい生活様式」に沿った感染症対策が必要とされ、採算面でもコロナ前にすぐ戻ることは難しいとみられる。(丸山ひかり)